

消防だより

令和3年(2021年)
11月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 20件
救急 : 1121件
救助 : 9件

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

積雪、凍結時の事故に注意

冬の運転対策はできていますか。この時期は冷え込みが一段と厳しくなり、路面が凍結しやすくなっています。路面凍結による交通事故や歩行中の転倒事故には十分注意しましょう。

降雪時の路面の状況は、積雪量や走行する時間帯により異なります。雪道を走行する際には、車の運転方法や冬用タイヤの装着だけでなく、滑りやすいポイントを事前に知っておくことも重要です。

● **交差点**／路面の雪が圧縮され、停車、発進を繰り返すことで表面が磨かれ、雪が非常に固く滑りやすいことが特徴です。

● **坂道**／下り坂では十分に減速し、いつでも止まることができる速度でエンジンブレーキを使いながら下りましょう。また、車両重量の

重い車は、坂道の制動距離が長くなるため、特に注意が必要です。上り坂では「ゆっくり加速」を心掛けましょう。

● **カーブ**／雪道はタイヤと路面の摩擦力が少なくなり、カーブの外側に飛び出しやすくなります。カーブに入る前に十分減速する「スロー・イン」を心掛けましょう。

● **橋の上**／橋は上下から路面が冷やされ、他の路面が乾いていても凍結している場合があるので注意しましょう。

● **トンネルの出入口**／陰になっていることが多く、路面が凍結している場合があります。また、風が通り抜けることで解けた雪が凍結しやすくなっています。



● **日陰**／雪や水がいつまでも解けずに残っていることがあるので、細心の注意を払いましょう。

文化財防火デー

昭和24
(1949
年)年1
月26日に
奈良県斑
鳩町の法
隆寺金堂
から出火



し、国宝の十二面壁面の大半が焼損したことから、文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

文化財は、歴史・文化を正しく理解する上で欠かすことができない国民共有の貴重な財産です。文化財の周囲では、たき火、喫煙はしないようにしましょう。また周辺に燃えやすい物を置いたり、ごみなどを捨てたりせず、地域の歴史と財産を守っていきましょう。

消防署・消防団合同訓練

1月30日(日)に消防署・消防団合同訓練を実施します。

● **浄教寺(長田542番地)**

・吉備金屋消防署、吉備支団第9・10・11・12分団

● **観音寺(東大谷522番地)**

・清水消防署、清水支団第1分団

消火栓・防火水槽付近に 駐車しないでください

火災が発生した際、消防隊は、消火栓や防火水槽の水を使用し、消火活動を行います。消火栓や防火水槽は道路脇や歩道上に設置していることが多く、標識などを設置して位置を示しています。

火災が発生した際、消防隊が使用する消火栓や防火水槽の付近に駐車されていると、水を使用することができなくなり、消火活動に支障をきたします。

消火栓や防火水槽の付近への駐車は避けていただくよう、皆さまのご理解とご協力をよろしく願います。